

【オリコンサルグローバルら6社JVがコンサル受注 マニラ地下鉄が起工】

## マニラ地下鉄が起工 オリコンサルグローバルら 6社JVがコンサル受注

オリエンタルコンサルタンツグローバルを代表とする6社JVがコンサルタント業務を受注したフィリピンの「マニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）」の起工式が2月27日、マニラ首都圏で開かれた。先行工区に当たる3駅と車両基地は2022年、残り工区の12駅は25年の供用開始を予定する。同事業はマニラ首都圏の大規模公共交通網の南北軸として、北部ケソン市と南部パラニャケ市を結ぶ同国初の地下鉄を整備する。地下15駅で延長は約25キロ。総事業費は7935億円。円借款には本邦技術活用条件（STEP）が適用され、地下トンネル掘削、狭い部分の施工、信号システム、車両などに日本の技術が活用される。6社JVはフィリピン運輸省から同事業の入札支援、施工管理などのコンサルタント業務を受注した。情報収集・確認調査、準備調査、詳細設計に次ぐ受注となった。